

岐阜県各務原市

国内有数の加工技術とIoTシステムを武器に、直近2年間で20%の顧客増に成功

冷間鍛造用金型、各種精密治具、各種機械部品の設計および製造を行う。ミクロン単位での精度が必要な金型部品加工を中心に、単品部品や治具の製作を得意としている。その他にも自動車・工作機械・産業機械・航空機・医療業界他多数の幅広い分野で必要とされる精密部品に、材料手配から製品納入まで一貫して対応している。ダイス・ハイス鋼をはじめ、超硬やセラミック等の高硬度材の加工を得意としている。

●所在地 岐阜県各務原市前渡東町4丁目180

●設立 1980年

●電話/FAX 058-386-8161/058-386-8266

●資本金 2,800万円

●URL <http://www.rhine-s.co.jp/>

●従業員数 31人

●代表者 取締役社長 長瀬 徹



国内トップクラスの超硬度材の加工技術で需要獲得

冷間鍛造型や樹脂金型の中でも、難加工といわれる超硬度材で1ミクロン単位の精度を必要とする加工技術が強み。割型等特徴的な部品や、超硬・セラミック等特殊材料での製作にも対応に加え、大手企業の厳しい要求水準をクリアしており、航空機、自動車、医療分野へ年間6,000点もの製品を提供している。パンチやダイなどの金型部品をはじめ、特殊部品・材料を用いた製作にも対応できる。また切削、熱処理、研磨、仕上げまですべてを社内で加工し、顧客の短納期要求にも応えることで、直近2年間で約20%の顧客増加に繋がっている。



機械を利用した高硬度材加工

独自の生産管理システムで「高い技術力」を維持

IoTを活用した独自の生産管理システム導入により、ノウハウが蓄積された10万件に及ぶデータから工程を参考に決定を行うことで、若手社員でも難加工にチャレンジする環境ができ、技術力の維持が図られている。同データを基に、早期段階で最も効率的な工程の組立可能で競争力を強化し、顧客獲得に繋がっている。また様々な技術提案にも活用しており、例えば金型部品の耐久性や機能性の向上に係る提案では、工法変更により部品寿命が333倍も向上した。



生産管理システムの利用

不具合を現状と過去の両方で検証し、さらなる進化へ

生産管理システムで稼働状況の可視化、製造工程の履歴管理により生産性の向上に取組み、2017年から2019年の利益率は1.8倍に増加した。全従業員にタブレット端末を貸与し、作業開始・中断・終了を端末に入力して全工程の稼働時間を把握している。また過去の不具合事例を参考に、加工方法の見直しを行っている。不良品が出る毎に委員会を開催し、ベテラン・若手社員でデータ等を参考に要因検討を実施、育成にも繋がっている。



熟練工のノウハウを若手に伝承